

With SIPS

※SBSは、正文舎（SyouBunSyuaの略です）



《好評連載中》
にほんごのまめ知識
Focus on JAPANESE

《Vol.17》
セイコウウラに？

正文舎のアレやコレ。

今月のキーワードは「W」

「株式会社 正文舎」 **A** to **Z**

WEB広告～チームで取り組み、スキルアップを目指す。

TOPICS ————— COVID-19対策

New&Goods ——— テレワークで変わるコミュニケーション



株式会社 正文舎のすべての情報は、WEBサイトでご確認ください。
バックナンバーもこちらから。

「株式会社 正文舎」 A to Z

WEB広告

Text_Honma Kazumi

チームで取り組み、スキルアップを目指す。

ædvɜːtáɪzmənt [名詞] 1 (商品・求人の) 広告、(印刷物による) 通知, 告知, 公示 2 一般に知らせること, 周知。

WEB広告とはインターネット上に掲載される広告で、リスティング広告^{※1}やSNS広告^{※2}など様々な種類があります。今年1月から、正文舎のWEB制作にかかわるスタッフ5人で、WEB広告の勉強を始めました。5人の中には既にスキルがあり、日頃からWEB広告運用を任されている者もいれば、右も左もわからない全く初めての者もあります。各自の目標を設定し、スケジュールを立て、日々の仕事との両立を図りながら勉強をしています。

私はWEB広告については、全く初めてで“ゼロ”からのスタートでした。私の目標は、まずはWEB広告の概要を知るために、教本を1冊読んでみることに。そして実際に広告をひとつ作って運用してみること。作るのは正文舎賞状netのリスティング広告です。



Illustration_Adobe Stock

『いちばんやさしいリスティング広告の教本』
 上司から薦められたこの本は、初めての人にもわかりやすいと評価されているようです。
 本を読んでほしいの概要はつかめました。これから先は、実際に作業しながら覚えていくことを目指します。

始めるにあたり、正文舎賞状netのサイトを改めて見返しました。広告出稿に必要な「キーワード」と「広告文章」を考える上で、自社がどんな商品を扱っているのかを、きちんと把握する必要があるからです。

「キーワード」を50個ほどリストアップします。自分が賞状を注文しようと考えている札幌在住のユーザーだとしたら、どんな言葉を使って検索をするかを想像し、「賞状」「札幌」「オーダー」「短納期」「通販」など、思いつく限りのワードを書き出します。

「除外ワード」というものもあります。極端な例えですが「賞状起源」なら、そのユーザーは賞状の歴史などを調べていて、賞状を注文する気配は無さそうですね。このようなワードは除外します。リスティング広告は、知れば知るほど奥が深いです。

正文舎は例年1月～4月上旬頃までが繁忙期です。この時期は仕事がどしどし入って来ます。WEB広告の勉強も仕事のうちではありますが、お客様への納品物を確実に完成させることのほうが自然と最優先になってきます。「自分の勉強はあとで挽回すればいいし…」「繁忙期明けから本気出す。」といった思考になり、勉強が進まない日が続きました。

そんな繁忙期間中でも、5人の勉強仲間は、毎月1回集まっています。各自の進捗報告をし、学んだ内容について仲間に発表していました。



ポイントには付箋がつ！

こういった場があることに「チームで活動する」というメリットを感じています。ひとりだと「勉強が思うように進んでいない……」と考えてしまいがち。でも仲間からの「本間さんは、以前はここを知らなかったけど、今回新しく分かったんだね!」という言葉を受けて、自分は少しずつでも前に進んでいるのだな、とポジティブに考えることが出来ました。

さて繁忙期も明けたことだし、これから本気を出そうっ！

- ※1 Google等の検索エンジンでユーザーが検索した語句に関連した広告を、検索結果画面に表示する広告。
- ※2 Twitter、Facebook、InstagramなどSNSに表示される広告。

TOPICS

	弊	感	新		
	社	染	型		
	の	拡	コ		
	取	大	ロ		
	組	防	ナ		
		止	ウ		
		に	イ		
		つ	ル		
		い	ス		
		て			
		の			

COVID-19

Text & Photo_Tokunaga Moe



新 型コロナウイルスの影響は、小中高校の一斉休校や大型イベントの中止だけでなく、札幌では「地下街」「大型ショッピングモール」や「百貨店」などの主要商業施設が5月6日まで休業し、コンビニやスーパーでは、レジの店員とお客さんの間に透明のビニールをカーテンのように設置し、飛沫感染を防ぐ取組が行われるなど、今までにない状況となっています。

弊社では感染防止のための手洗い・うがい・咳エチケットの徹底はもちろんのこと、日中は社内のドアを開放し、朝やお昼休みの一定時間、窓を開けて換気をし感染リスクを減らす取組を行っています。通勤時の感染機会を低減させるために時差出勤を活用している社員もいます。

また、対面での打ち合わせなどはなるべく避け、メールや電話、オンライン上のコミュニケーションツールを使用してのビデオ会議などで対応しています。

更に、順次テレワーク業務への切り替えを進めており、一層の感染拡大防止に努めています。



徐々に気温が高くなってきて、道端や公園では花や草木が芽吹きはじめました。北海道では、桜はこれから見頃を迎えます。札幌ではGW中に満開になりました。ですが、世界中で新型コロナウイルスの感染が拡大しているこの状況下ですので、今年は例年通りのお花見は我慢ですね。桜の名所のひとつである札幌円山公園では、「火気使用の禁止」や公園内の一部地域の立ち入り制限を行うなどして「宴会利用」の自粛が呼びかけられました。

左の写真は昨年の中山公園の桜です。桜は毎年咲くので、来年の春には、みなさんが満開の桜を楽しめることを願っています。

テレワークで変わるコミュニケーション

先日「コロナショックはウェブ制作をどう変えるか?」というテーマのZoomウェビナー[※]に参加してみました。パネリストはウェブ制作会社4社の経営者で、コロナショックの渦中状況を話し、Web業界の将来を本音で話してくれました。

このセミナーで印象的だったのは、テレワークに移行したあとの企業文化についてです。「企業文化はスタッフがお互いに顔をあわせて仕事をする中でできてるもの。スタッフがばらばらな場所にいる今、文化はできてるのだろうか」とひとりの方が悩みをうちあけてくれたのです。「スタッフ全員が作りだしていた目に見えない雰囲気、オンラインにはない。それが寂しい」と話されていました。

なるほど。

テレワークになると、スタッフそれぞれがそれぞれの空間で仕事をしているから、共通の空間にいる時間が少なくなりますね。

以前からテレワークの動きは始まっており、今回の新型コロナウイルスにより強制的に加速しているので、この問題が落ち着いたときにはテレワークはすっかり定着しているのだと思います。ですので、テレワークによるメリットのほか、デメリットも考えて企業ではコミュニケーションの方法を変える必要があるのだなと思いました。

※Zoomウェビナー
ウェビナーは、ウェブとセミナーをあわせた造語です。ウェブ上で行うセミナーを指します。Zoomはウェブ上で会議をしたりセミナーをするためのツールです。

顔を合わせていれば、声のトーンや表情で「あれしてね」「来週します」というあいまいな言葉もなんとなく伝わりますし、必要なときにもう一度確認できます。一方、テレワークになるとオンラインで顔を合わせることができても、伝わってくる情報がぐっと落ちてしまいます。言葉だけに言外に含まれる情報がなくなるので、会っているときよりも理解しにくいのです。コミュニケーションにタイムラグが発生して、必要な情報がすぐに確認できないというストレスも発生するかもしれません。

こんな問題を極力さけるには、まず伝えたいことを一度で伝わるように工夫するのがよいかなと思っています。その第一歩として、私はスタッフに「打ち合わせには、毎回必ず手帳を持って、具体的な日付をお互いに確認し合いながら進めてください」とお願いしました。テレワークになっても、スケジュールを確認するとき、オンライン会議のときには手帳を持つようにします。

物理的に距離ができてしまうテレワークでは、ひとつひとつのコミュニケーションが非常に重要になると思うのです。

これを機会にもう一段上のコミュニケーションを目指していきたいと思っています。

Photo_Adobe Stock



⑤ セイコウウラに?

私が朝食にかける時間はわずか10分。ゆったり、優雅な朝食から一日をスタートするなんて……無理。というわけで出勤前、民放のニュース番組をかけながら、いつものように慌ただしくトーストにかぶりついていたのですが、ふとテレビから女性アナウンサーの「…せいこううらに…」という声が聞こえてきました。「えっ」と思って画面を見ると、テロップに「…成功裏に…」と書かれています。もちろんこれは「せいこうり」と読むのが正しい。もともとの表記は「成功裡」。「裡」が常用漢字外なので「裏」を当てています。「裡」も「うら」と読みますが、この熟語は三文字すべて音読みするのが正解です。

しかし、字面だけ知っていて読み方を知らない、って案外あるものです。サッカーの本田圭佑選手が、2018年ワールドカップベルギー戦惜敗後のインタビューで、現在の心境を「きよきよしい」と語り、Twitterがざわついたのはご存じの方も多いかと思います。もちろん彼は「清々しい（すがすがしい）」と言いたかったのですが、言い間違えたことが話題に上ると、本田選手は「お恥ずかしい。漢字が苦手です。でも、もうしっかり覚えまして」とTwitterに投稿。素直に認めるところはさすが、男前ですね。

また、「しわく」というのも時々耳にします。「『しわく』ってなんだろう」と思い、話の流れから考えるとどうやら「思惑（おもわく）」と言いたかったらしい、といった経験が何度かあります。いわゆる「湯桶読み^{※1}」の熟語ですが、「おもわく」と



Photo_Adobe Stock

いう言葉は知っていても、「思惑」という漢字表記と結びついていない人が案外いるのではないのでしょうか。

先ほど「字面（じづら）」（「じめん」とも読みます）と書きましたが、こちらは「重箱読み^{※2}」の熟語です。「湯桶読み」や「重箱読み」は、読み間違いが多いかもしれませんね。

「脆弱（ぜいじゃく）」を「きじゃく」と読むなど、漢字も意味もおおよそわかっているのに正しく読めない例は他にもあります。そんな熟語を放置しておく、知らないうちに会話の中で恥をかいている、なんてことになるかもしれません。

※1「湯桶」のように、漢字二字でできている熟語の上の字を訓で読み、下の字を音で読むこと。また、そういう読み方。
※2「重箱」のように、漢字二字から成る熟語を上のは音で下の字は訓でよむこと。また、そのような読み方。
(※1・2共に三省堂スーパー大辞林3.0より引用)

校正の現場から。

「目途」と書いてなんと読みますか。「めど」と読む方が多いのではないのでしょうか。しかしコロナウイルスに関する一連の会見で、安倍総理はたびたび「目途（もくど）」と言っていますね。「また政治家が漢字を読み間違えたか」と思っている方もいるようですが、本来「目途」は「もくど」と読みます。めどは「目処」。「めど」を「目途」と書くのは当て字になります。「目途（もくど）」はやや堅苦しい表現で、政治家が好んで使うようですね。（参考：毎日ことば<https://mainichi-kotoba.jp/enq-140>）

《 会社概要 》

社 名：株式会社 正文舎

代 表 者：代表取締役 岸 昌洋

創 業：昭和 9年 5月 1日

設 立：昭和27年 5月15日

資 本 金：1,400万円

所 在 地：[本 社]
〒003-0802
北海道札幌市白石区菊水2条1丁目4番27号
TEL.011-811-7151
FAX.011-813-2581

[東京オフィス]
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7
オリेंट赤坂モートサイド805
TEL.03-5413-4016
FAX.03-5413-4017

取扱い品目

印刷事業

【 商業印刷物 】

[情 報 系] パンフレット・リーフレット・カタログ・チラシ、会社案内、ポスター、カレンダー、PR誌、取扱説明書（マニュアル）

[物流資材系] 各種封筒、包装紙、シール・ラベル

【 出版印刷 】

[書 籍] 名鑑、各種名簿、記念誌、単行本

[雑 誌] 週刊誌、月刊誌、専門誌

[新 聞] 各種業界新聞、学校新聞

[学 参 系] 教科書、辞典、問題集、生徒会誌

[自 費 出 版] 同人誌、自分誌、詩集、エッセイ、写真集

【 業務用印刷 】

伝票・帳票各種、オンデマンド／バリアブル、小ロット印刷、
賞状（学位記・証書等）印刷、可変宛名印字、ダイレクトメール

情報メディア事業（WEBサクセス） <https://www.websuccess.jp/>
各種WEBサイトの企画・制作・運営管理、各種データベースの企画・構築・運営管理、クロスメディア展開の企画・構築・運営管理

賞状net事業

賞状・表彰状等のインターネット通販サイトの運営

情報をクリエイト

株式会社 正文舎

札幌本社 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目4-27
TEL.011-811-7151 / FAX.011-813-2581

東京OFFICE 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7 オリेंट赤坂モートサイド805
TEL.03-5413-4016 / FAX.03-5413-4017

<https://www.syoubunsysa.co.jp>

※本誌はデジタル印刷機 Ricoh Pro C9200において、在庫紙を使用し、オンデマンド印刷・インライン製本をしています。



メディア・ユニバーサル・デザイン協会認定の
メディア・ユニバーサルデザイン・アドバイザーの
資格を持った制作者が多く在籍しています。



グリーンプリンティングの認定を受けています。



P-00023

全日本印刷工業組合連合会による
CSR認定制度の基準を達成しています。



IS 618840/ISO 27001

ISO/IEC 27001:2013 JIS Q 27001:2014
情報セキュリティマネジメントシステム
の認証取得をしています。



ぶらねっと
©2008 syoubunsysa.inc

★ぶらねっとくんは、正文舎の業務や取組を紹介するときに
どこからともなく現れるオリジナルキャラクターです。

Publisher ■ Kishi Masahiro
Creative & Art Director ■ Narita Sadayuki
Chief Editor ■ Ebina Mikiko
A to Z Writer & Editor ■ Honma Kazumi
Topics Writer & Editor ■ Tokunaga Moe
New & Goods Writer ■ Shirafuji Saori
Focus on JAPANESE Writer ■ Kurita Miyuki
Digital Printing ■ Narita Sadayuki

CR_labo in SYOUBUNSYA